

桂陽だより

令和7年7月22日 発行

北海道網走桂陽高等学校 総務部

連絡先：0152-43-2930

<http://www.abashirikeiyo.hokkaido-c.ed.jp>



高体連全道大会・高野連支部大会壮行式6月6日（金）



高体連の全道大会および高野連支部大会に参加する選手の皆さんを激励する壮行式が開かれました。今年度はバドミントン部(3A 八十木、3B松田、3C 木下、田中蓮、藤川、2A音田、野島、2B佐藤遙)8名と、陸上部(3B関谷、3C吉本、2A東條、前田、2B佐々木進、佐藤滯、高岡、1B川内)8名が本校の代表として全道大会に出場することとなり、大森生徒会長、柴尾校長先生の激励を受け、熱い決意を表明していました。

野球支部大会全校応援練習

6月19日(木)体育館



4年ぶりとなる高野連地区大会全校応援に向け、体育館で、有志が集まった応援団のもと、全校生徒で応援練習が行われました。吹奏楽部も加わり、盛大な太鼓のリズムと応援団の気迫のこもるエールのもと、全校生徒が一丸となり、途中野球部の選手も特別に参加して、見事に統制の取れた応援練習ができました。試合当日の活躍が期待される大変すばらしい練習でした。

全校応援 6月24日(火)

6月24日(火)北見市営球場で行われた野球部の対北見柏陽高校戦で、4年ぶりの全校応援を行いました。30度を超える炎天下、事前に行われた応援練習の成果を遺憾なく発揮し、それをうけた選手も実力をを見せてくれました。試合は前半強豪柏陽高校に対して互角の戦いを見せ、白熱の試合展開となりました。しかし次第に力の差が目立ちはじめ、じりじりと点差を広げられ、5回裏には「もはやこれまでか」と多くの関係者が思った矢先、守備でのファインプレーが飛び出し、その後も熱い戦いを繰り広げてくれました。残念ながら、8回コールド負けとなってしまいましたが、選手は持てる力を100パーセント出せたのではないのでしょうか。この日の応援も、選手が持てる力をよく発揮させる大きな手助けになったと確信しました。試合後、応援生徒も感動の涙を流すものがたくさん見られました。来年度以降も続けてほしい学校行事だと感じました。



